

新職員宿舎建設へ

三愛病院 来年2月完成

特定医療法人社団千寿会（千葉泰二理事長）は、運営する三愛病院（登別市中登別町、同院長）の職員宿舎を建設する。独身者の利用を想定しており、2階建てで計20部屋設ける。来年2月下旬に完成予定。各部屋に風呂やトイレなどを備え、人材確保に向けて働きやすい環境整備を図る。

（石川昌希）

建設場所は、同病院に隣接する土地を活用する。既存の宿舎が老朽化していることから、新たに設ける。2階建てで各階に10部屋ずつ用意する。1部屋当たりの広さは約30平方メートル。間取りはLDK、IHキッチン、グヒーターなどを備える。駐車場も部屋数と同数確保する。

14日に建設地で地鎮祭が行われ、千葉理事長、施工会社などから約20人が出席。神事でくわ入れなどを行った。あいさつに立った千葉理事長は「従来の宿舎は昭和55年着工。思い入れのある人もいるだろうが、38年経過する。療養環境整備の観点から、宿舎の建て替えを考えていた。働く人材の確保に向けた工夫の一環として取り組みたい」と述べた。来賓を代表して、堀井学衆院議員の琴恵夫人がメッセージを代読した。

新たに建設する職員宿舎のパス



「人材確保の一環として取り組みたい」とあいさつする千葉理事長